

# ウィット リフレッシュ

## Takara standard

### 設置説明書

#### 洗面化粧台



### もくじ

|            |   |
|------------|---|
| 1. 安全上のご注意 | 2 |
| 2. 設置上のご注意 | 3 |
| 3. 組立配管図   | 3 |
| 4. 設置手順    | 5 |
| 5. 点検・仕上げ  | 8 |
| 6. お願い事項   | 8 |

- この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- 設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

- 水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- 給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- 本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
- 梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

# 安全上のご注意 必ずお守りください

- ・設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- ・表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

## 警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

## 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- ・お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



必ず実行

このような図記号は、必ず実行していたく「強制」の内容です。



禁止

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

## 警告



必ず実行

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。



必ず実行

- 水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因になります。

## 注意



必ず実行

- 組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する  
設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。
- 引出しに収納する物は、収納物の高さに注意する  
収納物が排水器具やボウルと接触し、水漏れ破損などの原因になります。
- 排水パイプと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う  
接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 設置後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓を絞って流量調整する  
水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。



必ず実行

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う  
接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
- 扉や引出表板を調整する時は手回しドライバーを使用する  
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する  
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。



禁止

- ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない  
使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

## 快適にご使用いただくためにお守りください

- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける  
プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。
- 設置する時にカウンターやボウルに載らない  
ボウルが割れたりキズがつくおそれがあります。

- 工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない  
キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
- 浴室等湿気の多い場所への設置は避ける  
製品が早く傷むおそれがあります。

# 設置上のご注意

## 設置前のご確認

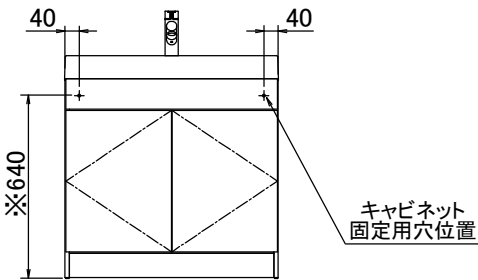
- ・固定下地には、ネジ固定位置を中心に十分な強度を持つ厚み12mm、幅100mm以上の合板が貼られているか確認し、所定の付属ネジを使用して手順通り確実に行ってください。（下台壁面固定位置図参照）
- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。（給排水位置図参照）

# 組立配管図

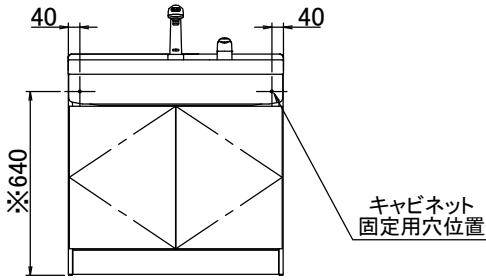
- 下台壁面固定位置
 

注)図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。  
 カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。

＜人大カウンタータイプ＞



＜ホーローボウルタイプ＞



- 給排水位置
 

注)図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。  
 カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。

＜人大カウンタータイプ＞ ※壁排水には対応できません。

| 間口          | 水栓          | 正面図 | 上面図 |
|-------------|-------------|-----|-----|
| 60～75<br>cm | 洗面ホース引出しタイプ |     |     |
|             | 洗髪シャワータイプ   |     |     |

<ホーローボウルタイプ(奥行き60cm)>

| 間口   | 水栓        | 正面図 | 上面図 |
|------|-----------|-----|-----|
| 75cm | 洗髪シャワータイプ |     |     |
|      | 洗面タイプ     |     |     |
| 間口   | 水栓        | 正面図 | 上面図 |
| 60cm | 洗髪シャワータイプ |     |     |
|      | 洗面タイプ     |     |     |

※[ ]内寸法は、水栓KM8017TK(C)を使用する場合の寸法になります。

<ホーローボウルタイプ(奥行き50cm)>

| 間口   | 水栓        | 正面図 | 上面図 |
|------|-----------|-----|-----|
| 75cm | 洗髪シャワータイプ |     |     |
|      | 洗面タイプ     |     |     |

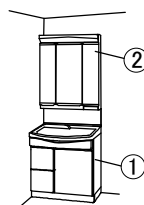
## 設置手順

### <洗面化粧台の設置順序>

洗面化粧台の設置は下記の順序にしたがってください。

①洗面下台 → ②ミラーキャビネット

※ミラーキャビネットの設置は、それぞれに付属している設置説明書にしたがってください。



下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

※印はオプション部材の設置です。

(1)付属部品の確認 ⇨ (2)水栓の取付 ⇨ (3)排水部品の取付 ⇨ (4)下台の設置 ⇨ (5)給排水管の接続

⇨ (6)ミラーキャビネットの設置 ⇨ (7)コーキング処理 ⇨ (8)扉・引出しの調整

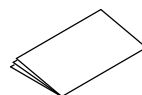
### (1)付属部品の確認

・付属部品が揃っているか確認してください。

本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

### 共通部材

|       |                |     |
|-------|----------------|-----|
| 小物セット | 取扱・設置説明書       | 各1部 |
|       | 皿タッピンネジ 4.5×60 | 2本  |
|       | ネジキャップ         | 2本  |



取扱・設置説明書



皿タッピンネジ  
4.5×60



ネジキャップ

### ホーローボウル(洗面水栓タイプ)の場合

|      |        |    |
|------|--------|----|
| 同梱部品 | 防臭キャップ | 1個 |
|------|--------|----|

### ホーローボウル(洗髪シャワー水栓タイプ)・人大カウンタータイプの場合

|      |           |    |
|------|-----------|----|
| 同梱部品 | 防臭キャップ    | 1個 |
|      | ポップアップつまみ | 1個 |
|      | ケレップ      | 1個 |



防臭キャップ



ポップアップつまみ



ケレップ

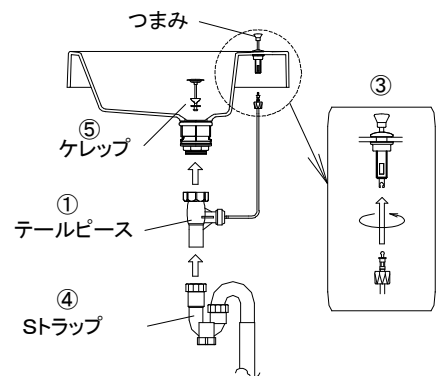
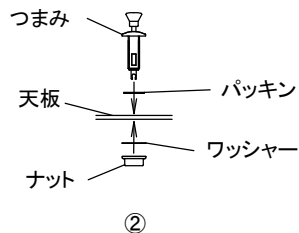
## (2)水栓の取付

水栓付属の説明書にしたがって、水栓を取付けてください。

## (3)排水部品の取付

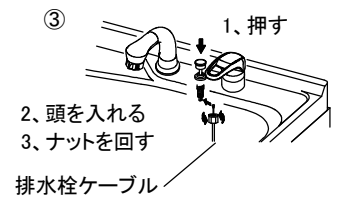
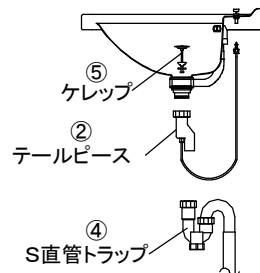
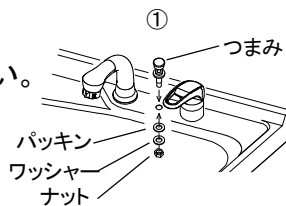
### ＜人だカウンタータイプの場合＞

- ①テールピースを取付けてください。
- ②つまみを取付けてください。
- ③テールピースとつまみを接続してください。
- ④ストラップを取付けてください。
- ⑤ケレップを取付けてください。



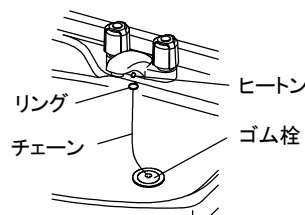
### ＜ホーローボウル(洗髪シャワー・ポップアップ)タイプの場合＞

- ①つまみを取付けてください。
- ②テールピースを取付けてください。
- ③テールピースから出ている排水栓ケーブルをつまみに接続してください。
- ④ストラップを取付けてください。
- ⑤ケレップを取付けてください。



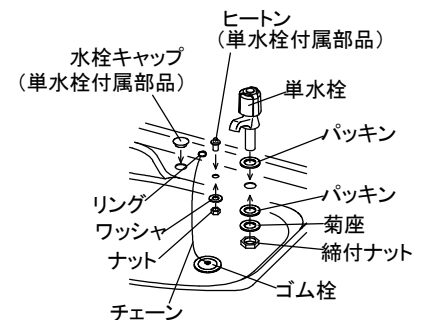
### ＜ホーローボウル(洗面)タイプの場合＞

- ①水栓のヒートンにゴム栓のリングを接続してください。
- ②ストラップ、又はストラップを取付けてください。



### ＜ホーローボウル(単水栓)タイプの場合＞

- ①ヒートンにゴム栓のリングを接続してください。
- ②ヒートンをボウルに取付けてください。
- ③水栓キャップにシリコン(クリア)を全周に塗布して、ボウルに取付けてください。
- ④ストラップを取付けてください。

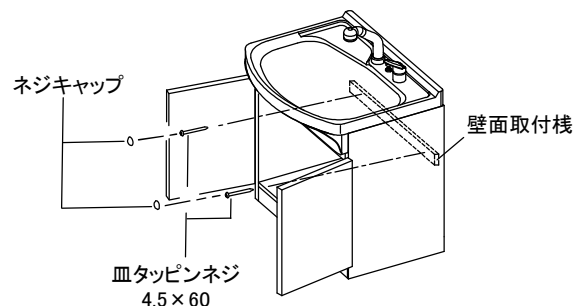


## (4)下台の設置

- ①P3の下台壁面固定位置にφ5の下穴を加工してください。
- ②下台を所定の位置に設置してください。

ご注意: 床が水平でない場合、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

- ③下台内部より、壁面にネジで固定してください。  
固定したネジ頭にネジキャップを取り付けてください。



## (5)給排水管の接続

- ①底板点検口蓋を止めているネジをはずして、底板点検口蓋を取りはずしてください。
- ②現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に穴(給水管、給湯管、排水管用)をあけてください。
- ③給水管・給湯管を接続してください。
  1. 点検口蓋にあけた穴に給水管、給湯管を通して、止水栓を取付けてください。
  2. 水栓付属の説明書にしたがって配管工事を行ってください。

#### ④排水管を接続してください。

- 1、前作業であけた穴を給水管・給湯管に通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。
- 2、水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

#### ご注意

- パッキンの取付け位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。  
水漏れの原因となります。
- 金属製のナット類は十分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因となります。
- 凍結防止や結露防止が必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。

#### 排水管の接続

作業前に床排水か壁排水かを確認してください。壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。  
排水管の接続工事は、各地水道局指定工事店に依頼してください。

※防臭キャップは、VP40・VU40・VP50・VU50に対応しています。

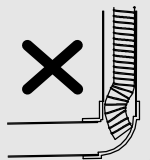
#### ●床排水の場合

- 1、排水パイプを底板点検口蓋に通し、防臭キャップを排水パイプに取付けて排水管の位置確認してください。

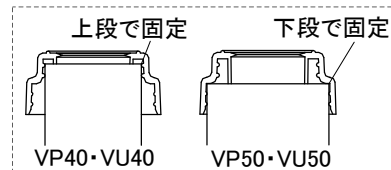
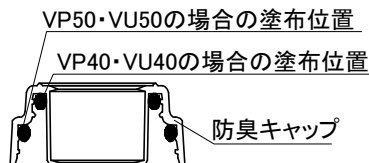
#### ご注意

○給水・給湯管、シャワーホース、ポップアップワイヤー、排水トラップ、引出し中仕切りが干渉しないように配管を調整してください。

○排水パイプが長い場合は、必ず切断してください。パイプが長いまま差し込むと、排水不良の原因となります。

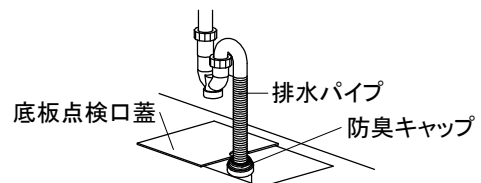
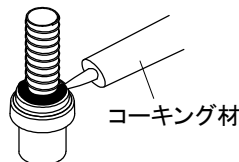
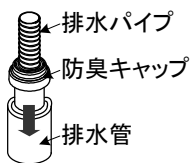


- 2、設置時にシール出来るように、防臭キャップ内面全周にシリコン等のコーキング材を塗布してください。



- 3、立ち上がっている排水管に、防臭キャップを上から被せてください。

- 4、防臭キャップと排水パイプの間をシリコン等でシールしてください。



- 5、底板点検口蓋を底板に取付けてください。

#### ご注意

- すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
- ナットを締める場合は、工具を使用せずに手締めしてください。  
袋ナットが破損するおそれがあります。
- U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けしないでください。  
水漏れの原因になります。
- 凍結防止・結露防止が必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。

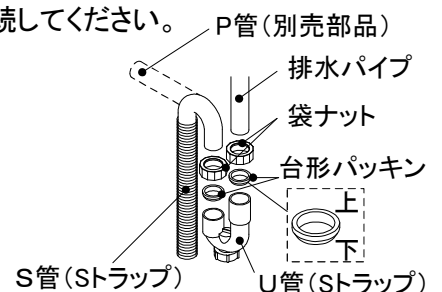
#### ＜壁排水の場合＞

- 1、後板(もしくは後板点検口蓋)にあけた穴に、P管を通してください。
- 2、建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とストラップのU管を確実に接続してください。

#### ご注意

○給水・給湯管、シャワーホース、ポップアップワイヤー、排水トラップ、引出し中仕切りが干渉しないように配管を調整してください。

- 3、P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- 4、後板点検口蓋を取付けてください。



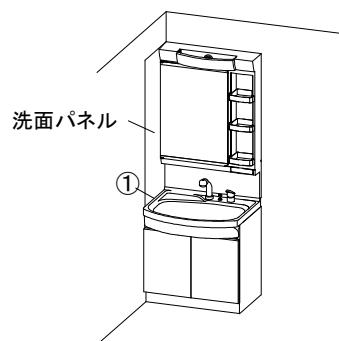
## (6)ミラーキャビネットの設置

- ・ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。

## (7)コーキング処理

- ・洗面下台に続いてミラーキャビネットの設置が完了しましたら、外観向上および防水処理のため、次の箇所をシリコン剤(白)でコーキング処理を行なってください。

- ①ボウルと洗面パネル(又は壁面)の間の目地



## (8)扉・小引出しの調整及び固定

- ・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、「取扱説明書 調整方法(P6～8)」にしたがって調整してください。

# 点検・仕上げ

### ●安全点検

- ・取付部材がしっかり固定されているかを確認してください。
- ・水栓の取扱説明書にしたがって、配管内のゴミや油分を十分に洗い流してください。また、サーモスタット付シャワー水栓の場合は止水栓の上にあるストレーナーの清掃も行ってください。
- ・水栓のシャワーホースが配管・キャビネットと干渉していないか、シャワーホースを数回引出して確認してください。
- ・ポップアップつまみがスムーズに動くか確認してください。
- ・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

### ●仕上げ

- ・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
- ・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。その後、水を含ませて固くしぼった布、または水をよく切ったスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、漂白剤は使用しないでください。製品をいためるおそれがあります。



# お願い事項

### ●製品の養生

すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

### ●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引き渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

### ●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

設置説明書SUV(3)  
9K-1



\* 1 2 8 6 9 6 7 8 \*